

# 日 常 活 動

活動内容	役割と責任	具体的取り組み
安全衛生対策活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態把握のための産別との意見交換による事例集の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部作成の事例集を活用し、展開をはかった。</li> <li>・ 各種委員会や審議会で意見提起を行いました。</li> </ul>
各種委員会 (常設・課題別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員会の目的と役割の明確化と実効性の伴う運営</li> <li>・ 各課題に基づいた委員会の設置と運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常設の委員会をその目的に沿って開催しました。</li> <li>・ 地協活動検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を論議する場を作りました。</li> </ul>
男女平等参画推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3次男女平等参画推進計画策定を視野に入れた実態把握と今後に向けた論議</li> <li>・ 各産別・構成組織の取り組みに対し、機関紙や広報媒体を活用した事例の紹介</li> <li>・ 男女平等意識をより高めるセミナーや学習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女平等セミナーで、託児体制を初めて構築して開催しました。</li> <li>・ 3.8国際女性デーで、女性委員や女性組合員も参加しアピール行進を行いました。</li> <li>・ 働く女性の相談ダイヤルは、土・日も含めた相談対応を実施しました。</li> </ul>
平和・人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争の悲惨さや恒久平和への思いを高める平和団の積極的な派遣、ならびに平和意識高揚に向けた取り組み</li> <li>・ 人権差別撤廃に向けた関係団体との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部が取り組む「沖縄・広島・長崎・根室」集会への団派遣と広島親子派遣に取り組みました。</li> <li>・ 平和パネル展を商業施設と県有施設で開催しました。</li> </ul>
国際交流・連帯活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際交流のあり方見直し論議</li> <li>・ 見直し論議結果に基づいた取り組みの実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外視察団開催に向けた支援について、産別・地協からヒアリングを実施し、費用面のサポートや組合員への理解醸成に向けた方向性を出しました。</li> <li>・ 関東ブロックや労福協の海外視察などに積極的に役員を派遣しました。</li> </ul>
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア情報や参加機会の提供</li> <li>・ 連合群馬・愛のカンパ助成団体との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東日本大震災の復旧・復興ボランティアに取り組みました。</li> <li>・ 連合群馬の助成団体との具体的な連携については、ふれあいフェスティバルでの連携のみとなってしまいました。</li> </ul>

評価と課題	後半期に向けた補強
<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働行政に震災対策や安全衛生面の重要性について提起しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守に向けて産別との意見交換を行い、より働きやすい職場環境の構築に向けた支援を行います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席率が低い会議があり、調整不足や計画どおりに進みませんでした。</li> <li>・地協活動検討委員会を設置し、地協の方向性を話し合う場が確立されました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因を検証し出席率を高めるための調整や工夫を継続します。</li> <li>・地協活動を論議する場を引き続き設定します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の各セミナーやイベント参加者は、男性組合役員が中心となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性組合員や一般の方が参加しやすいような企画検討を行います。</li> <li>・両立支援推進の進捗状況について情報の共有化をはかります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和派遣団への参加者が減少傾向にあり、派遣の取り組みについて検討する必要があります。</li> <li>・県庁でのパネル展の開催に向け、取り組みの遅れから実現することができませんでした。</li> <li>・人権差別撤廃に向けた具体的な取り組みが実施できませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和団の派遣に向け、早い段階から募集を行い、各産別への参加協力を行います。</li> <li>・県民ホールでの開催に向け、具体的な取り組みを展開します。</li> <li>・関係団体との連携により、具体的な取り組みにつなげていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外視察団開催に向けた支援体制を新たに確立しました。</li> <li>・中小産別へ費用負担がはかられ、新たな産別からも参加が得られました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外視察団の派遣に向け、早い段階から目的を明確にし、視察国の選定を進めます。</li> <li>・役割と責任において関東ブロックや労福協への派遣を継続します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的なボランティア活動の情報収集や提供ができませんでした。</li> <li>・連合群馬助成団体との日常的な連携を強化する取り組みが不足しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア情報の収集と提供の取り組みを強化します。</li> <li>・連合群馬助成団体との連携強化に向けた取り組みを行います。</li> </ul>

活動内容	役割と責任	具体的取り組み
社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会を通じた意見提起や組織内外への世論喚起</li> <li>・ 希望と安心の社会づくり運動の推進と理解活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種審議会での意見提起を行ってきました。</li> <li>・ 公契約条例の制定に向けて、知事提言や各市町村への要請、街宣活動を実施しました。</li> <li>・ 連合本部の「新21世紀社会保障ビジョン」、「第3次税制改革基本大綱」への意見提起を実施しました。</li> </ul>
環境・エコライフ運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連合エコライフ21運動の積極的な展開</li> <li>・ 県や外部団体の取り組みに対する積極的な参加・協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節電ステッカーを作成・配付し意識付けに取り組みました。</li> <li>・ 機関紙あぷらうちでの世論喚起に努めました。</li> </ul>
広報・宣伝活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイムリーな機関紙の発行やHPの更新</li> <li>・ 読者の視点に立った広報媒体の工夫</li> <li>・ マスコミを通じた連合運動の広報活動と認知度を高める取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の機関紙発行や災害対策ニュースで活動報告を実施しました。</li> <li>・ HPでの各種活動や地協活動の情報発信を実施しました。</li> <li>・ 連合イベントのマスコミへの情報提供と記事掲載を実施しました。</li> <li>・ 昨年機関紙が配送されていなかったことを踏まえ、印刷・配送での連携強化と確認を実施しました。</li> </ul>
青年委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産別や組織の枠を超えた仲間づくりとリーダーの育成</li> <li>・ 活発な論議ができる委員会体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ交流イベントを開催し、過去最高の参加者が集まりました。また、産別・組織の枠を超えた交流ができました。</li> <li>・ 青年委員会が主体的に、東日本大震災の街頭カンパ活動を行いました。</li> </ul>
女性委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会への積極的な参画と充実した体制づくり</li> <li>・ 産別や組織の枠を超えた仲間づくりとリーダーの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会での積極的な意見交換と企画への反映で、活動の活性化や実施報告で活動参加への意識向上をはかりました。</li> <li>・ 働く女性の相談ダイヤル対応者として事前学習会で学びました。</li> <li>・ 広島平和行動や難病連と連携した署名活動へ女性委員を派遣しました。</li> </ul>
高齢退職者連合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織の枠を超えた交流行事の拡大</li> <li>・ 加盟組織拡大に向けた構成組織への働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 囲碁将棋大会・学習会・尾瀬交流集会など、組織の枠を超えた取り組みを行いました。</li> </ul>

評価と課題	後半期に向けた補強
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことを軸とする安心社会の実現に向けたセミナーを開催し、連合のビジョンについての共有化が行えました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策提言の活動を通し、社会保障のあり方を組織内・外で行っていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステッカーの作成に時間をかけすぎ、配布時期が遅くなってしまいました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止に向けた具体的な取り組みを展開するために明確な提案や世論喚起に取り組むこととします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙の発行タイミングが遅くなり、各組織・地協で効果的に活用できないことがありました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行タイミングを固定化し、毎月製作スケジュールを検討します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通し、産別・組織の枠を超えた交流がはかれました。</li> <li>・青年委員が主体となった取り組みができました。</li> <li>・今後も産別の枠を広げ、多くの方が参画する取り組みを進める必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員育成の一環として、研修会等によりリーダーを育成する場を設定し、活動の幅を広げていきます。</li> <li>・加えて、様々な活動への役割と責任を果たす中で、組織人としての育成にもつなげていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の感性や目線で、自ら企画を行うことによる女性委員会の活性化がはかれました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のイベント参加促進に向けた取り組みを行います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者に向けた組織の枠を超えた交流を各種行事を通して行いました。</li> <li>・組織拡大に向けた産別との連携が必要です。</li> <li>・組織拡大に向けた具体的な取り組みが行えませんでした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のニーズを把握し、交流の場を拡充することとします。</li> <li>・産別との連携や情報収集・提供を強化します。</li> </ul>